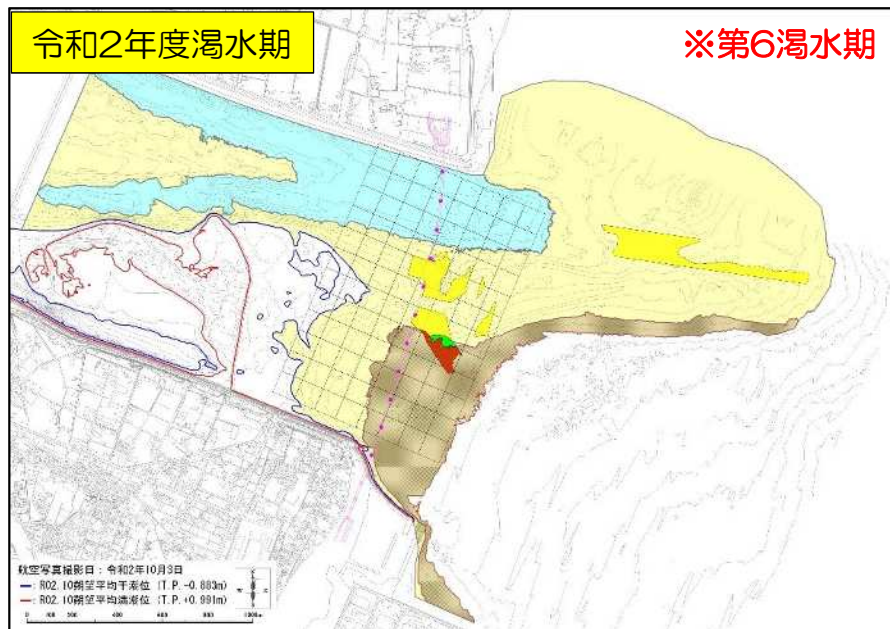


# ■ 浚渫の影響評価 ～区分2の指標種における影響値の比較～



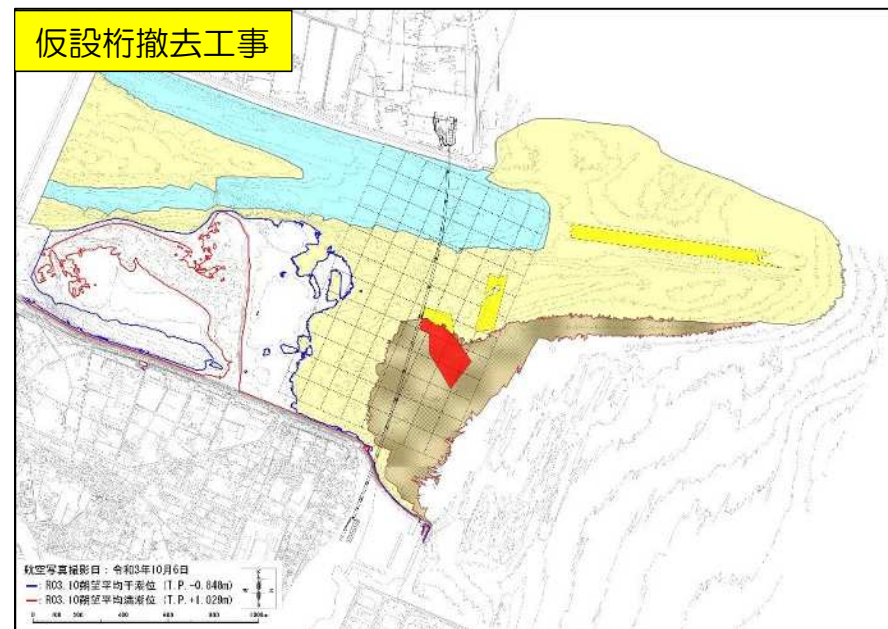
第14回検討会時に公表した浚渫の影響評価の値と比較すると、区分2の指標種において影響値は増加していることが確認された。

## ■ 区分2の指標種の生息可能範囲（第14回検討会）



項目	チヨノハナガイ シノブハネエラスピオ
	m <sup>2</sup>
生息可能場面積	410,236
浚渫面積	11,645
浚渫の影響評価	2.8%

## ■ 区分2の指標種の生息可能範囲（第15回検討会）



項目	チヨノハナガイ シノブハネエラスピオ
	m <sup>2</sup>
生息可能場面積	391,887
浚渫面積	33,255
浚渫の影響評価	8.5%

影響値が増加